おわりに

いつも、子どもたちと通っている散歩道、子規句碑から宮原への登り道にあるヒストリーコースや串山公園近くの戦争の残物や碑をみて、「先生、これ何？」「何ってかいてあるん？」と子どもたちが尋ねることがあった。子どもたちの素朴な問いかけに答える為「くれのれきし」という絵本を作成しようと思うようになった。

私は、呉大空襲に取り組むことにより、戦争の悲惨さ・平和の尊さについて、歴史的観点からもとらえながら、子どもたちに、より正しく話したいと思った。

そこで、呉大空襲を経験した人々から話を聞き、資料を調べたが、戦争体験のない自分たちに、本当の悲惨さをどこまで受けとめられるか……。不安もあるし、課題である。しかし、次の世代を担う子どもたちに、戦争によって失われた尊い命・真の平和の尊さを伝えたい。

この「くれのれきし」の絵本を通して、子どもたちと一緒に話し考える場をもち、平和を願う歌を歌ったりすることで、呉の今、生きているこの子どもたちに、戦争の悲惨さだけではなく、平和の尊さを少しでもわかってもらえることを望みやまない。過去の歴史や、土の中に消えていったものから、多くのことを学び、未来を見つけ出したい。

尚、この絵本を作成するにあたって、いろいろな資料を提供してくださった、呉市史編さん室の方、戦争の悲惨な体験をお話ししてくださった方々、ならびに、作成に協力してくださった方々に深く感謝します。

参考文献（本書で引用した図書・資料）

呉 空 襲 記	中国新聞社発行
黒 い 盆 地	呉市民の戦後応募体験記と資料
呉・戦災と復興	呉市史編さん室編集　呉市役所発行
私がいま伝えたいこと	婦人の友編集部
呉 の 歩 み	呉市史編さん室編集　呉市役所発行
呉 の 戦 災	呉戦災を記録する会